



富山空港スポーツ緑地公園 華々しくオープン

飛行機の騒音を和らげるため、富山市秋ヶ島の富山空港隣に造られていた公園、富山空港スポーツ緑地が二十七日、オープンした。

全体で九・七ヘクタールだが、今回オープンしたのはこのうちの六・八ヘクタール。第三種公認で全天候型四百メートルトラックの陸上競技場。全天候型のテニスコート六面がある。いずれも夜間照明付きで、平日は午後九時まで使用できる。このほか、二百八メートルにわたって滝や池、水の流れがあるせせらぎ広場、飛行機の離発着が一望にできる展望広場、冬にミニスキー場となる芝生スロープがある。陸上競技場の南側には県総合体育センターが隣接しており、スポーツ、レクリエーションの場として一段と充実した。

スポーツ緑地は、富山空港のジェット化に伴い、騒音軽減の緩衝緑地として、公害防止事業団が五十九年から整備、残りの部分はゲートボール場や芝生スポーツ広場などに造成、七月に使えるようになる。

この日午前十時から開園式があり、中沖知事らがテープカット。記念植樹をしたあと、陸上競技場で新保小の新保サッカー少年団とシニアチームの富山フットボールクラブが対戦するサッカーの試合があり、オープンを祝った。

昭和 62 年 (1987 年) 4 月 28 日 北日本新聞朝刊より